

## 新型コロナウイルス感染症に関して

### 炎症性腸疾患を持つ患者さんに理解していただきたいこと

・**炎症性腸疾患に罹っている事そのもので新型コロナウイルス感染症のリスクは上がらないと考えられています**。ただし炎症性腸疾患の調子が悪化し体力を奪われると、抵抗力が低下し、コロナウイルス感染症の発症・重症化のリスクになると考えられています。そのため、**現在の治療を継続していくことが最も重要です**。

・炎症性腸疾患治療薬と感染リスクに関しては、感染リスクを上げないと考えられる薬剤(サラゾピリン<sup>®</sup>、ペンタサ<sup>®</sup>、リアルダ<sup>®</sup>、アサコール<sup>®</sup>、注腸・坐剤)もある一方で、感染リスクとなる可能性がある薬剤には以下のものがあります。ステロイド(特に1日20mg以上の高用量)、免疫調整薬(アザニン<sup>®</sup>・ロイケリン<sup>®</sup>)、抗TNF $\alpha$ 抗体製剤(レミケード<sup>®</sup>、ヒュミラ<sup>®</sup>、シンポニー<sup>®</sup>)、エンタイビオ<sup>®</sup>、ステララ<sup>®</sup>、ゼルヤンツ<sup>®</sup>、プログラフ<sup>®</sup>。しかし、前述したように**病気をよい状態に保つことは薬剤による免疫抑制よりも重要であると考えられます**。その為、感染への不安から自己判断で治療を中断せず、必要な治療はきちんと継続することが重要です。

・炎症性腸疾患の治療に併せて、一般的な感染対策として手洗い・マスクの着用、3密(密閉・密集・密接)に代表される他人との接触を最低限とし、不要不急の外出を控えることが重要です。感染蔓延のリスクが高い状況においては、電話再診などが可能な場合もありますので、状況に応じてお問い合わせください。

また日本炎症性腸疾患学会から炎症性腸疾患における新型コロナウイルス感染症に関する声明が出ていますので、参考にしてください。

<http://www.jsibd.jp/office.html>